

## あおぞらだより

第166号(発行/平成29年3月)

### 2 病院デイケア合同カラオケ会 院内のお雛様

#### 医療不信

江戸川病院院長 新村ヨシオ



メジロ (デイケアメンバー撮影)

医療不信は今日ほどあからさまに言われることはない。確かに人命や健康を奪った事例があるので、報道されるのも当然である。当事者にはもとより、医療界全体、それに国民にも注意喚起させるためにも情報を提供していると考えられる。患者のとりちがいによる手術、手術器具やガーゼの腹腔内取り残し、健康な肺葉や乳房の切除、技量不足で致命的な侵襲を与えた

ことを大きく報告されたことがあった。薬害についても血液製剤、ワクチンなどで一生を棒に振ってしまった人も多い。尊い人命や幸福の権利を剥奪したので、非難されるのを甘受しなければならない。診断のための検査そして薬物療法にしても治療の計画を立てるが、不適切な手術や麻酔薬の選択や用量にミスが起こってしまう。医療事故が報道されるたびに厚労省から通達があり、我々は指導を受け議論を重ねてマニュアルを作成し、事故防止を徹底させる。事故が起こってからでは遅いのであるが、人為的誤りは在ってはならない。ただ薬害のなかには予想もできないこともある。特に免疫系は神経を遣うことが多い。そばでもアナフィラキシーショックを起こして致命的になるので、アレルギーには十分に注意する。

医療不信を国民が感じてきたのは、この30年のように思われる。医療裁判が多く

なり、情報開示で診療録を提出することになり、詳細が分かってきた。脳死患者にカリウム剤を注射して死去させた医師がいたが、その経過は診療録によって解明された。とても衝撃的な事件であった。評論は百家争鳴で、いまだに尊厳死は法制化されないし、この事件は教訓となっただけで長年据え置きとなっている。それ以前は医療は聖職とされ、性善説となってきたが、診断書の虚偽記載や証明などで告訴されたり、細菌で人体実験した細菌学者もいたし、医師も妻子殺人などの犯罪に手を染めていた。日本では認められてない心臓移植手術をしたり、肝や肺の臓器移植をし、功名心にはやって人体実験しているのではと医療不信を助長させていた。移植後、何日生存したかが話題になり、報道人は人の命を軽視していると批判していた。この頃から医療過誤も公表されるようになり、報道の頻度も多くなった。

医療不信に更に輪を掛けたのは、医師の優遇税制が国会でもやり玉に上がり、水増し請求・脱税・悪徳医師を例にあげ、「医者は贅沢で高級外車や奥さんの毛皮を買わせるようなものだ」という暴言を吐いた議員がいた。不公平税制ということで議論するのは良いが、医者をごきおろすような発言は、聞き手に溜飲が下がる思いをさせることで国の無策の矛先を医師に向けていたのではないか。とくに医師を弁護する人もなく、日本医師会が反論した程度でお茶をにごしたが、、、。一方では医療過誤を防止しようとするあまり、検査項目を網羅し診断技術を向上させれば、検査漬けと揶揄され、薬を処方すれば薬漬けで儲けていると非難していた。残念であるが、疾病を沢山抱えている人は薬は増えるし、その都度検査し病気を追跡し、観察しなくてはならない。病状は変化し、とくに悪化している時は検査も多くなるし、薬だって増えてしまう。とくに高齢になると疾患は合併してくるので検査も薬も増えてくる。それでも検査漬け、薬漬けと誹謗される。それに最近は三大新聞、週刊誌などで健康番組を特集し、薬の副作用を大々的に報道している。医療を否定する医師も脚光を浴びている。

医療不信が蔓延していることには医師は反省すべきだが、マスコミが薬害を誇大解釈し、誇張して視聴者や読者の心理を煽ったりすることも大きな要因のひとつである。確かに医師の触法行為や誤処方そして誤投薬、誤注射などの報道は多い。もうひとつはインターネットの情報過多である。医療全体の極一部の人によって全体の印象を悪くしてしまう。どこでも同じだが、大小に拘らず組織を考えるとその中の1%に人間は不埒な輩がいるのである。在ってはならないが、100人の集団の中でひとりかふたりは問題のある人物はいる。大学を卒業し、資格を取得後も、同じ環境で同等の教育を受けても、医師としての素養を身に付ける人格にはばらつきがある。そのなかのひとりでも罪を犯せば、医師全体が腐敗しているように報道される。麻薬や覚醒剤をはじめ、性犯罪や反社会的行動をしたりと同業者としても恥ずかしい限りである。こんなことで医療の信頼性が揺らぐのは遺憾である。大多数の医師は医の倫理、患者への尊重、社会正義を遵守して診療している。

## 木野崎病院・江戸川病院合同カラオケ会



木野崎病院デイケア(デイケアメンバー撮影)

木野崎・江戸川病院合同カラオケ会が3月3日(金)に、木野崎病院デイケア内で開かれました。部屋の中は華やかに飾り付けられ、明るくとても素敵な空間でした。

場を和ませるためのアイスブレーキングでは、じゃんけんをして勝った人がサインを書く内容

で、大爆笑が起きて緊張感もすぐにとれました。お菓子や飲み物(甘酒やジュースなど)も用意してくれ、手厚いおもてなしと心遣いに感激しました。

カラオケはみんな上手で、聴きごたえがあり、雰囲気も和やかで癒されました。また、恋ダンスを踊って盛り上がり、<sup>スーパー</sup>超楽しかったです。昼食には、ばらちらしや桜餅風のデザートが出て、ひな祭りの雰囲気も楽しめ美味しかったです。自由時間には、木野崎病院のメンバーが案内してくれ、周辺を散策しながら会話が弾んでたくさん交流が出来ました。打ち上げでは、手作りのピーチババロアがふるまわれとても美味しかったです。木野崎病院のみなさんありがとうございました。

是非、次回も楽しい交流会が出来ればいいと思います。(デイケアメンバー)

## ♡ 院内のお雛様 ♡

今年はひまわりとE棟6階、デイケアにお雛様を飾りました。写真はひまわりのものです。八段飾りの豪華な飾りで、お雛様とお内裏様の穏やかで優しい顔にほっとした気持ちになりました。職員がアレンジメントしたお花が華やかな雰囲気を醸し出していました。

